

しが よらづいし 1986

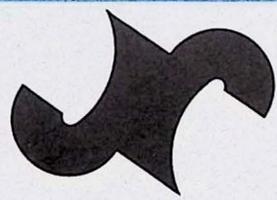
創立30周年記念



創立30周年記念

八日市商工名鑑

1986



八日市商工会議所

「めざせ! 蘇生の世紀、^と^き

企業力が郷土を拓く」





ごあいさつ

八日市商工会議所は、八日市市の市制施行に呼応し、昭和31年2月設立され、以来30年の間大きな時代変化の中で、常に地元産業経済の振興と発展、社会福祉の向上に最善の努力を重ねつつ、ここに創立30周年を迎えるに至りました。

聖徳太子を開祖とする伝統ある市場町をその礎に、豊かな自然とおだやかな風土にいだかれ、県東部地域の中核都市として栄えてまいりました八日市市も、名神高速道路インターチェンジの開設を機に、大企業の工場進出、大手スーパーマーケットの立地等が活発化し、かつ目すべき変貌を遂げてまいりました。

しかし現在、わが国の産業社会は、経済のサービス化・ソフト化・高度情報化への激しい潮流のなか、内外ともに新しい局面を迎えており、この八日市市に各々の役割を担って活動いただいている2,000余の企業においても、次なる時代の要請に的確に対応願わねばならない、誠に厳しい環境となっております。

「活性化」とは、自からの英知と努力によって構築すべきものであり、地域に根ざした個性ある経済開発が求められている今こそが、商工会議所の先導的使命感を着実に果たすべき好機であると確信いたします。

この30周年記念事業の挙行をステップに、更なる勇気と情熱を燃やし、21世紀へ向かって躍進の途を歩む所存であります。

皆様方の益々のご支援をお願いさせていただくとともに、本事業に寄せられましたご協賛に対し、ここに深甚なる謝意を表する次第であります。

八日市商工会議所会頭 福原 憲治



発刊のことば

本市は、昭和29年8月滋賀県下5番目の都市として31,000余の人口で「八日市市」が誕生しました。

市制施行以来30年あまりの歩みのなかで、幾多のいばらの道を踏みしめてまいりましたが、中京・阪神の2大経済圏の中間地点であり、かつ県下中部に立地するという優位性に恵まれ、幾多の先人の功績と市民の郷土愛に支えられ繁栄してまいりました。

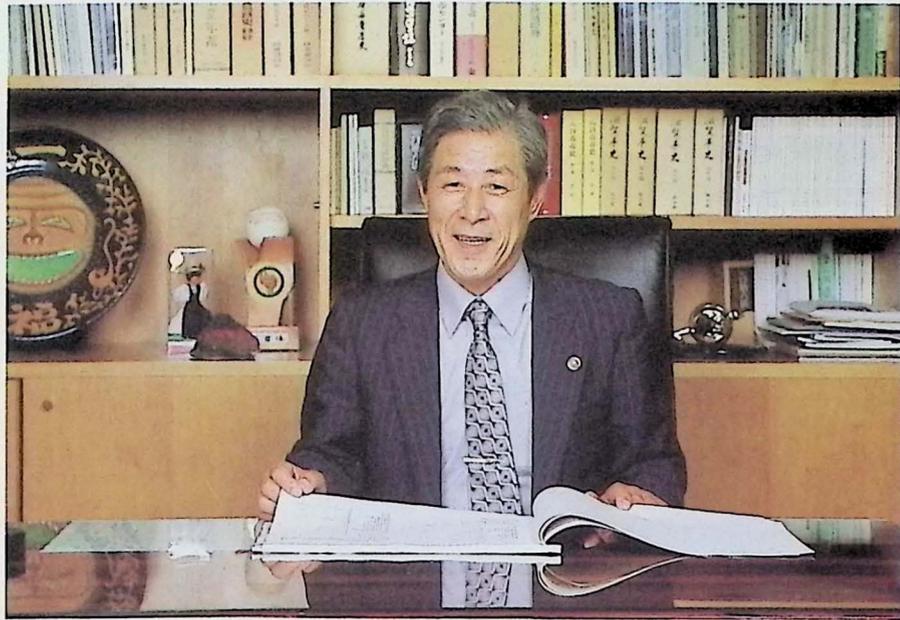
しかし、経済が安定成長時代を迎え、都市行政も転換期に直面するに至り、商業においては顧客吸引力の著しい低下、工業についてはほとんどの企業が収益の悪化、成長の鈍化という多難な現状にあり、生き残るための方策、進路を模索している今、まさに商工会議所の任務は重大であると痛感いたします。

かかる時局にあつてこそ、地元商工業の皆様方並びに関係機関の絶大なるご支援により挙行させていただく商工会議所創立30周年記念事業は、まさにわが八日市市再生への一歩でなければならぬと意を新たにしております。

ここに、記念事業の一環として当市の概要と商工業の現況を広く江湖に紹介し、商取引・経済交流の活発化を期するため発刊いたしました商工名鑑が十分に活用され、愛蔵願えれば最上の喜びと存じます。

なお、本名鑑の発刊にあたり賜りました多大のご支援、ご協力に対し、心より御礼を申し上げます。

八日市商工会議所
創立30周年記念事業特別委員長 前川 恕



発刊によせて

八日市市は古くより周辺の物資集散の地として栄え、その歴史的背景にも支えられ湖東地方の産業経済の中心地として順調な歩みをとげてまいりました。

豊かな風土がはぐくんだ地場産業におうところが多かった本市産業も、名神高速道路八日市インターチェンジの開設でその趣きをかえるにいたりました。

今や時代を担う先端技術産業が数多く立地し、内陸工業都市としての色彩をおびるに至り本市商工業は活況を呈しております。

まちの活動はやはりそのまちの産業経済に左右されることが大きく、本市でも市内企業の地力をつけるがための商工業振興施策を更におしすすめていく必要があろうかと存じます。

とはいえ、企業をとりまく経済環境は国際経済の動向に大きく左右されるなど、最近とみに厳しさをましてきております。

企業間でも、体質の転換、経営理念の改革にせまられるなど、マクロ的な面にわたる企業努力の望まれるところであります。

本市商工会議所も設立以来30年という節目の日をむかえました。

商工会議所の使命達成のため関係の皆様のご活躍をご期待申しあげるものでございますが、この時にあたり、八日市商工名鑑が発刊され、誠に時をえたものと関係各位に深い敬意を表するものであります。

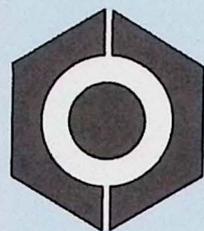
この名鑑が十二分に活用され今後の本市商工業発展の一助となりますことを祈念いたしまして発刊に際してのお祝いのごことばといたします。

八日市市長 望田 宇三郎

1986 八日市商工名鑑 目次

“蘇生の世紀をめざす”八日市航空写真	2
会頭のあいさつ	4
発刊のことば	5
発刊によせて	6
八日市市の概要	
位置・広ぼう・人口	8
歴史	10
駅前開発事業	12
布引ニューライフタウン計画	13
産業の概況	
事業所の概要	14
商業	16
工業	18
観光	
八日市イラストマップ	20
八日市の観光	22
四季のまつり	25
八日市の特産品	26
国際親善・交流	28
商工会議所の概要	
商工会議所会館全景写真	29
商工会議所正・副会頭写真	30
商工会議所役員・議員顔写真	31
商工会議所30年の歩み	38
商工会議所の組織	40
商工会議所の事業活動	42
30周年記念青年トーク	
「わがふるさと蘇生への21世紀ビジョン」	44
協賛広告	50
商工業者名簿	177
食料品	1
織維	13
日用品雑貨・文化用品	20
文房具・書籍・印刷	28
鉄工・金属	31
機械器具	33
木材・木工製品	41
窯業・建築資材	44
化学製品	46
建築・建設業	49
電気・ガス・石油・その他の燃料	59
運輸・倉庫	61
金融・保険・証券・不動産	63
サービス業	66
百貨店・大型店・団体	86
その他	88
創立30周年記念式典・事業・特別委員会組織	282
事務局紹介	284
あとがき	285

八日市市の概要



市章

昭和29年11月制定

六角形は佐々木六角の領地であったことにより、滋賀県をシンボライズし、その中へ八日市の八日を充填単純化したもので、白い輪は円満和合を現わしている。

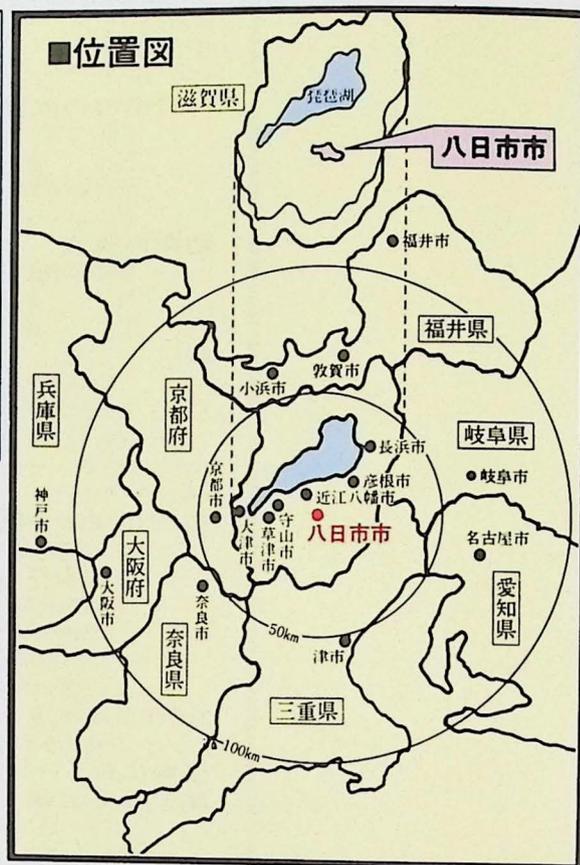
位置

八日市市は、滋賀県の中央よりやや南部、琵琶湖の東部に位置しています。

広大な鈴鹿の山脈を背にひかえ、北部に箕作山、西部に瓶割山、雪野山、南部には布引山が横たわり、市の東部から北部にかけて清流愛知川が流れている。

広ぼう

面積 53.19km²
 東西 13.75km
 南北 7.88km
 海拔 最高375.3m
 最低101.9m
 北緯 35度06分35秒
 東経 136度12分38秒



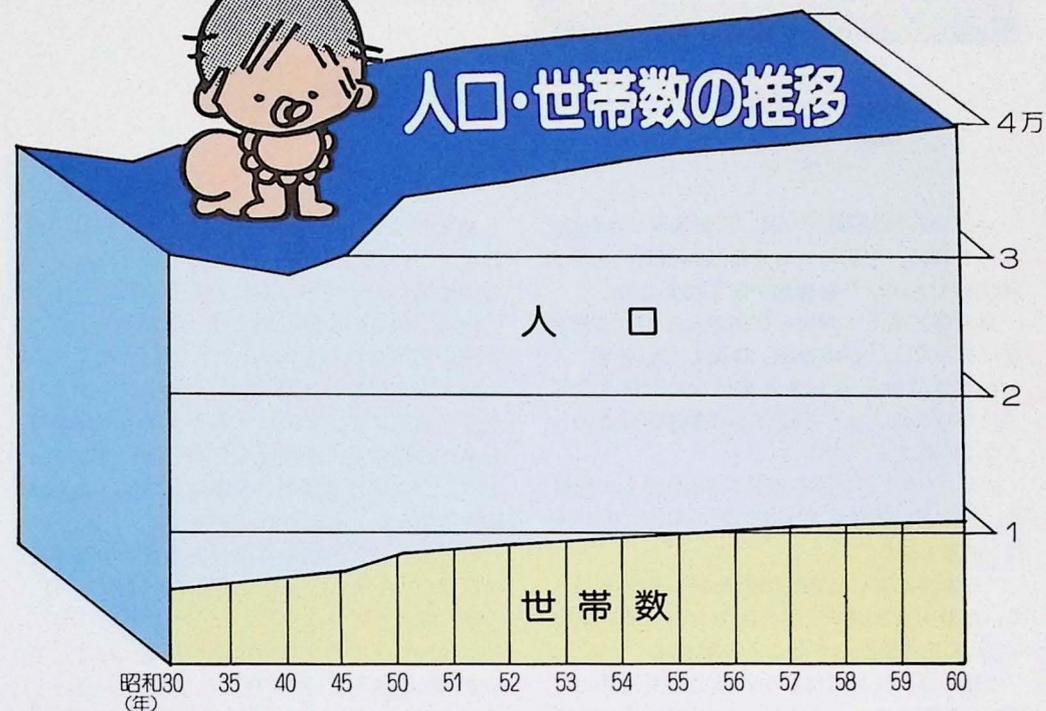
位置図

気象

気温は年平均15度前後、降水量約1,700mmと恵まれた気象条件にあり、おだやかな気候風土で住みやすく、農作物の栽培にも適している。降雪も、まれに10~20cmちらつく程度である。



人口・世帯数の推移



年次	人口	世帯数	おもな出来事
昭和30年	30,486	6,326	市制施行後初めての市議選が行なわれる
35	29,844	6,534	八日市北小学校竣工 八日市南小学校竣工
40	29,437	6,808	江勢道路第1期工事完成
45	30,261	7,327	市役所「なんでも聞く課」設置
50	34,653	8,826	行政ニュータウン完成
51	35,186	9,266	南部地区公民館完成
52	35,974	9,516	市役所新庁舎完成
53	36,603	9,738	八日市勤労福祉会館オープン
54	37,208	9,915	アメリカミシガン州マーケット市と姉妹都市提携調印
55	37,639	10,065	草の根文庫設置(10ヶ所)
56	38,022	10,230	県立八日市文化芸術会館オープン、長山公園完成
57	38,554	10,462	'82八日市産業フェア開催
58	38,903	10,625	八日市市総合計画策定
59	39,170	10,787	市制施行30周年
60	39,741	11,065	図書館・市民健康センター完成

八日市市の歴史

古代

いまから1,300余年の昔、天智天皇7年(668)5月5日に、現在の八日市市域西南部にあたる蒲生野で大がかりな狩猟が催されました。

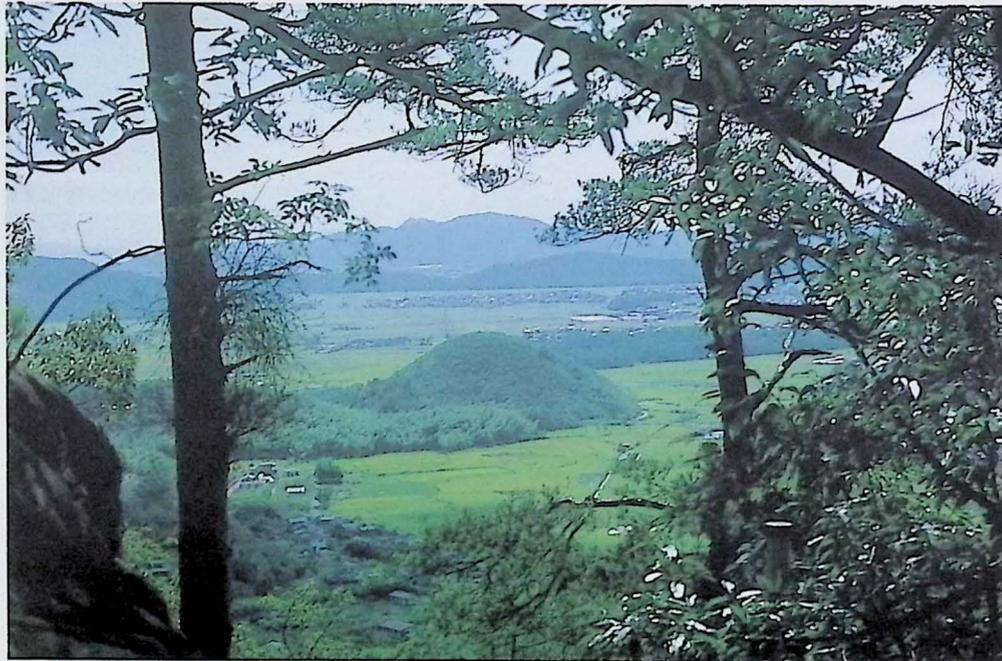
皇大帝・諸王・内臣・群臣のことごとくが天皇に従ったと「日本書記」は記しています。

万葉集にひときわ光彩をはなつ大海人皇子(のちの天武天皇)と額田王の恋の歌はこのときつくられたものです。

また、そのころ百済の遺民1,000人以上が神崎郡、蒲生郡に移されて、蒲生野の開拓に力が入れられました。

「日本書記」には市内羽田地域に根拠をもっていた羽田公矢国が壬申の乱で大海人軍に加わり、大きな功績をたてたことも記されています。

これらは、八日市市域が日本史の表舞台に登場した期間ですが、市内には旧石器時代の遺物や縄文・弥生時代の遺跡も見つけられており、



蒲生野 湖東平野の中央部に広がる「蒲生野」。有名な額田王と大海人皇子のロマンの地でもあります。

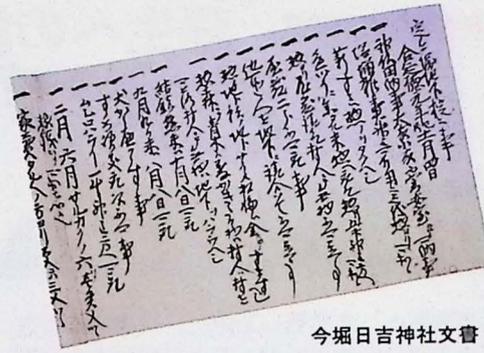
歴史の古さを物語っています。

中世

「八日市」という地名は「源平盛衰記」にはじめて登場してきます。そのことから鎌倉時代にはすでに近江にひろく名を知られた市場が、この地域にできていたらしいことがわかります。

当時、現在の小脇町脇には、近江守護・佐々木氏が居館をおいていました。「吾妻鏡」によると建久元年(1190)に源頼朝が小脇宿に一泊し、さらに嘉禎4年(1238)にも將軍頼朝・執権泰時ら多くの鎌倉武士が佐々木信綱の館に宿しています。この時の有様が「吾妻鏡」には「おん儲結構比類なし」と記されています。

いっぽう、わが国中世民衆史を研究するうえで重要な「今堀日吉神社文書」によって、大森、今堀、蛇溝など13ヶ村にわたる得珍保に「惣」とよばれる先進的な自治組織が存在したことや鈴鹿山脈を越え、遠く伊勢、美濃、越前などと商いをすすめた保内商人の活躍を知ることができます。



今堀日吉神社文書

近世

八風街道と御代参街道の交差する八日市場は近世になってますます賑いをみせました。

二と八の日には市が開かれ、周辺から多くの人々が集まり、また金屋鋳物師や八日市矢立、中野たばこなどの名も広く知られるようになりました。県の選択無形民俗文化財である「大凧」、江州商人の商いの手ぶり身ぶりをなぞらえたという「江州音頭」なども江戸時代から始められたもので、そこから民衆の力強いエネルギー



行政ニュータウン 市民のためのうれしいのあるまちづくりが着々とすすんでいます。

一を感じることができます。

近・現代

大正3年(1914)10月、八日市市の東南部にひろがる沖野ヶ原で、民間飛行家・荻田常三郎が愛機「剪風号」で1時間余の飛行に成功。以来沖野ヶ原に飛行場をつくる運動がくりひろげられ、翌年ここにわが国はじめての民間飛行場が誕生しました。その後、曲折をへて大正9年に陸軍飛行場となり、終戦により廃止に至るまで、八日市市は軍都としての一面をもちました。

昭和29年8月15日、1町5村が合併して県下5番目の市制を施行。そして、昭和39年には名神高速道路八日市インターチェンジが開設されて、大企業の進出が続き、その後昭和50年には「森と水と屋根のある町—行政ニュータウン」が完成しました。

八日市市はいま、町づくりの総合計画「2001への展望」のもとに、湖東の中核都市としての新しい発展を求めつづけています。

蘇生への胎動 2大プロ

都市基盤整備と商業近代化

駅前開発事業《土地区画整理事業》

八日市市の市街地は、古くから湖東地方の中心商業地として発展してきた、八日市駅前を軸に扇状に広がる歴史の古い旧市街地と、名神高速道路八日市インターチェンジ周辺や旧飛行場跡に、昭和40年以降企業進出や住宅開発により急速に形成された新しい市街地に分けられます。

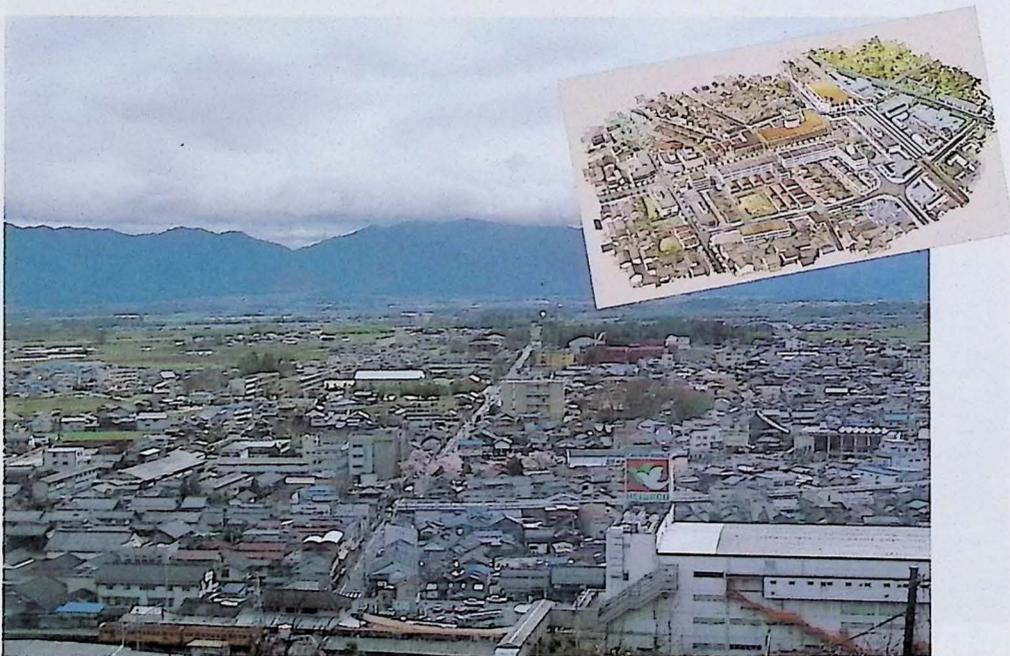
市の玄関口であり、商業活動の中心であるべき駅前は、今なお商店、住宅が密集し、道路も狭く駐車場も不足している現況です。

そこで、中心市街地における住環境を改善し、同時に機能低下を招いている商店街の近代化・活性化を実現し、うるおいと賑わいを創造するため、市の21世紀ビジョンの中で示され、スタートしたのが駅前土地区画整理事業です。

次代にひきつぐ活気と魅力に満ちたまちづくりが一步一步前進しています。

●事業の概要

名称	近江八幡八日市都市計画事業・八日市駅前土地区画整理事業
施行区域	近江鉄道八日市駅前を含む東西約300m、南北約200mの区域、面積約6.7haの区域
基本事業費	31億円



現在の駅前中心部

今発進する プロジェクト

みどりにつつまれた 新しいまちづくり

布引ニューライフタウン計画

市街地から約4kmはなれた布引丘陵の一角に、新しいまちをつくり出す「ニューライフタウン計画」は、市の総合計画「2001への展望」におけるまちづくりビジョン「活力に富む産業とにぎわいのあるまちづくり」を進めるための大きなプロジェクトです。

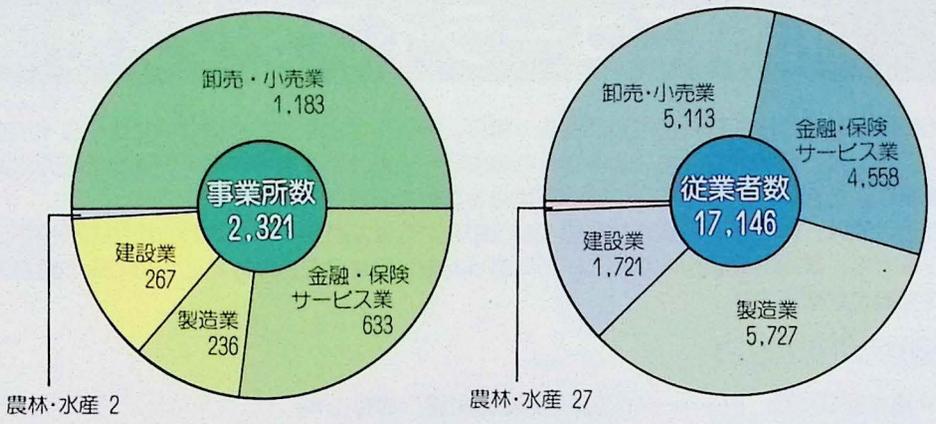
布引丘陵は、市の南部に横たわる約400haのなだらかな台地で、恵まれた自然の環境を生かしながら、次代の社会や人々のニーズにあった新しいまちを創作することのできる優れた条件を備えた地域です。

●個別プロジェクト

- 働く場づくり……………「工業団地造成計画」約19.3ha
- 住む場づくり……………「住宅団地造成計画」約19ha 500戸、1,750人
- 運動と憩いの場づくり……………「総合運動公園整備事業」約20.3ha
 体育館・テニスコート・多目的グラウンド・野球場・プール・宿泊施設など

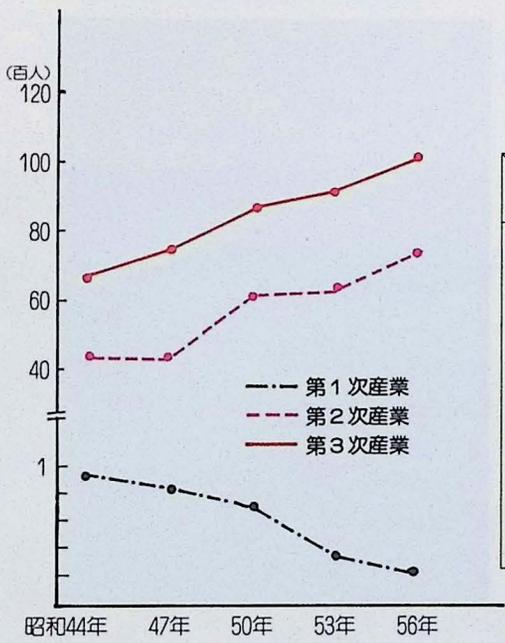


■事業所の概要



(資料：昭和56年事業所統計調査)

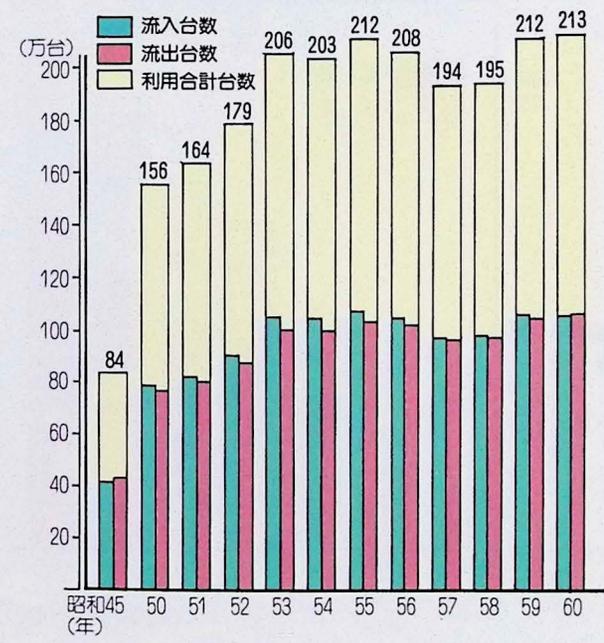
■産業別従業者数の推移



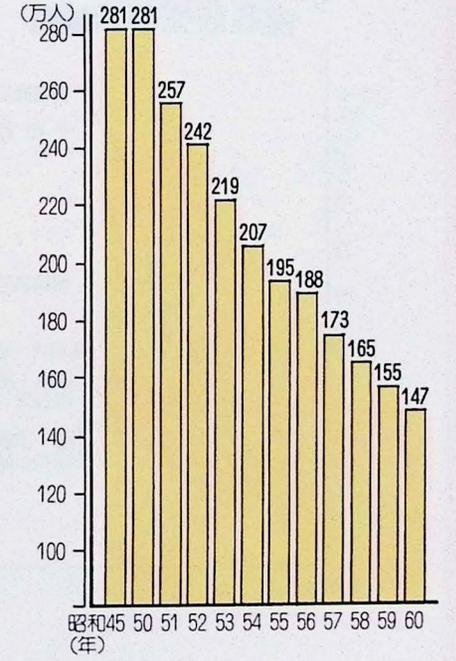
種別	第1次産業	第2次産業	第3次産業
年次	人	人	人
昭和44	95	4,311	6,573
47	84	4,371	7,431
50	73	6,145	8,615
53	35	6,348	9,242
56	27	7,448	10,238



■名神八日市インターチェンジ
利用車両の推移



■近江鉄道・八日市駅
乗降客数の推移



近代化をめざす市街地商店街

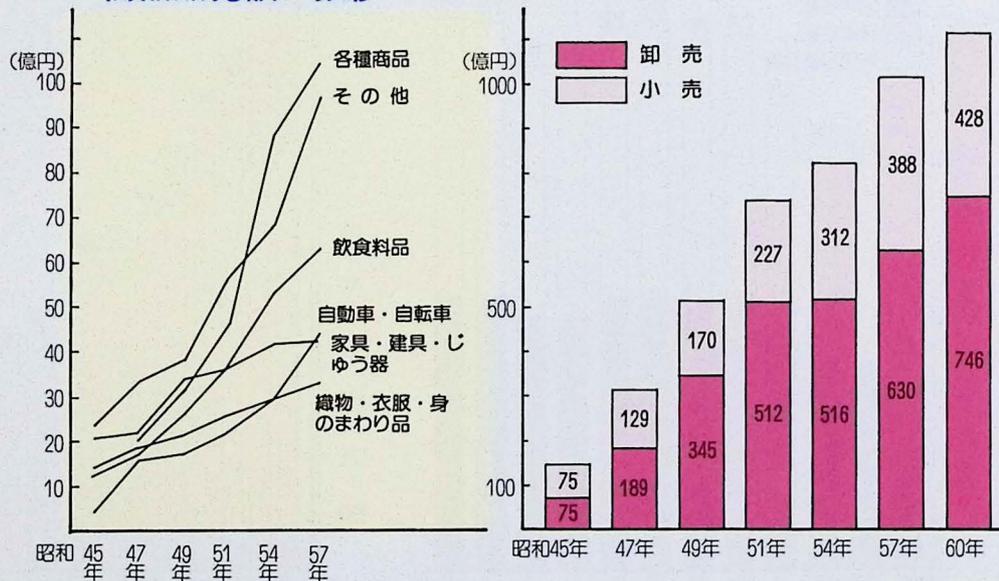


いきいきとして潤いのあるまちづくりのために、地域商業の発展と近代化は欠くことができません。

八日市市の商業は、その名のとおり伝統的な市場町としての特性を生かし発展してきました。しかし最近では、行政ニュータウンの誕生による市街地との商業集積の二極化、消費者の買物行動・ニーズの多様化により厳しい転換期を迎えている。

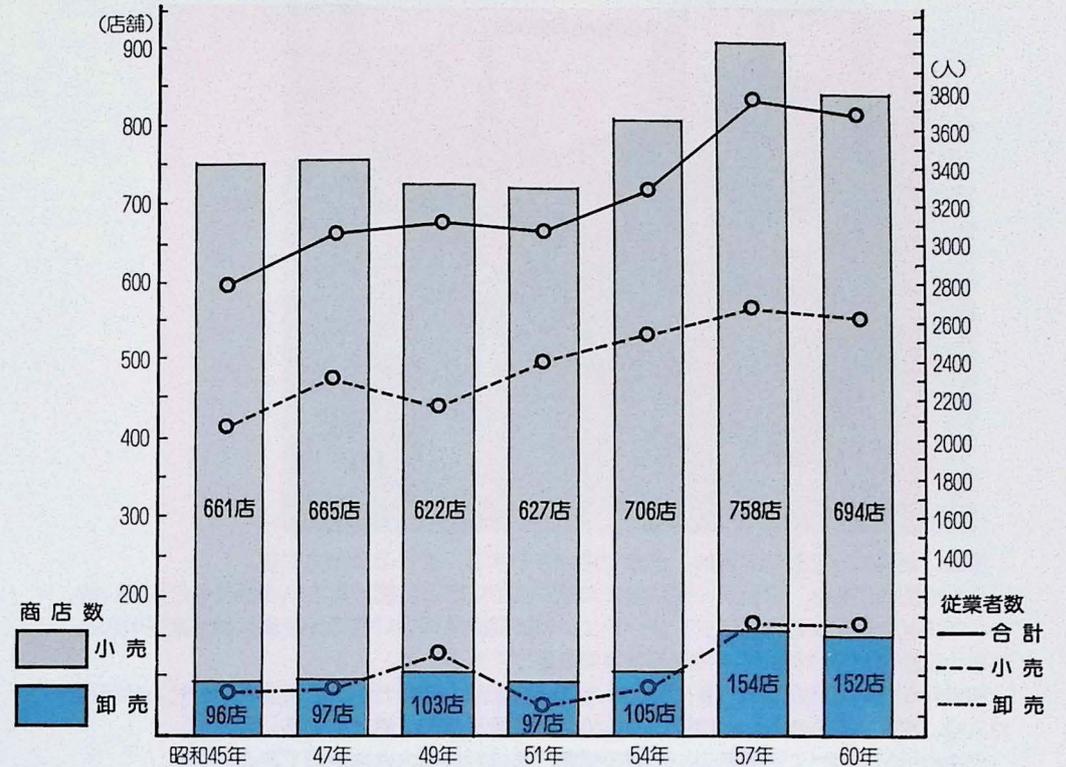
現在進行しつつある土地区画整理事業による駅前整備計画とともに、便利で快適なショッピングができる良質な商業市街地づくりをめざして、今商店街近代化事業が動きだしています。

■小売業産業分類別商品販売額の推移



(商業統計調査)

■商店数及び従業者数の推移



(商業統計調査)

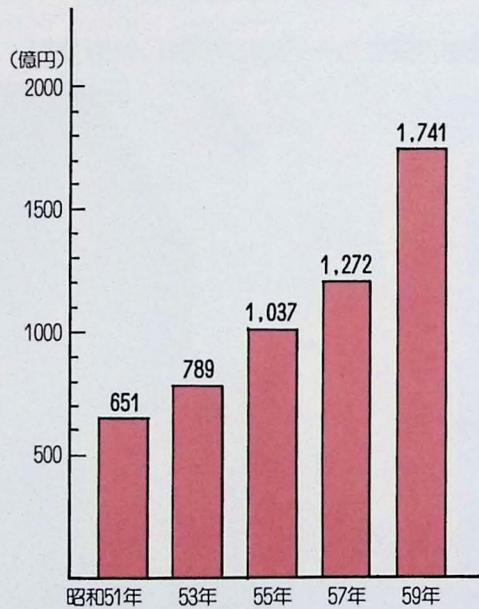
さらににぎわいを増す行政ニュータウンの新しい商業地





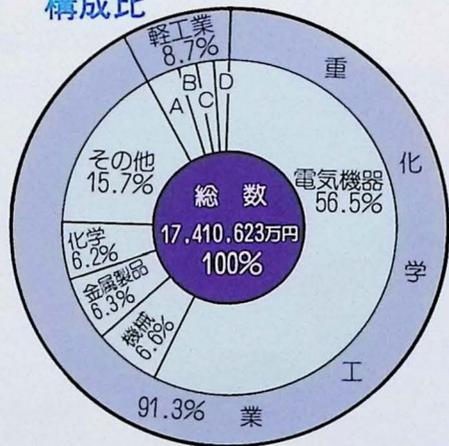
産業、とりわけ工業の発展は、豊かで活力あるまちづくりの原動力です。
 八日市市の工業は、京阪神・中京の2大経済圏の中間に位置するという優位性に加え、昭和39年の名神高速道路八日市インターチェンジの開設を契機に電気機械器具製造業を中心とする大企業の進出が相次ぎ、飛躍的な発展を遂げてきました。
 昭和40年代の10年間で約15倍に増加した年間製造品出荷額が低成長経済といわれる50年代に入り、成長率もやや鈍化傾向にあるものの、着実な進展を続けている。
 今後21世紀にむけて、地元中小企業の振興、育成が最も大きな課題である。

■ 製造品出荷額等の推移



(工業統計調査)

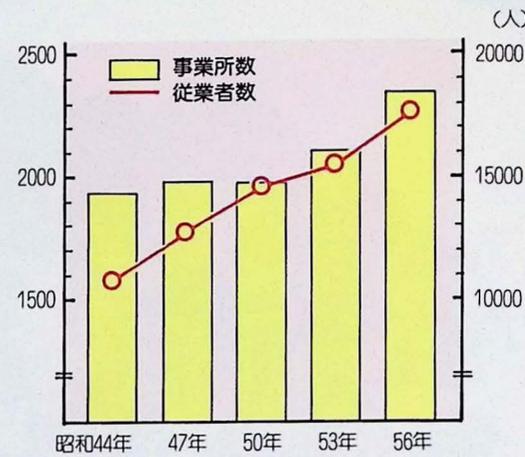
■ 産業別製造品出荷額等の構成比



A	バルブ・紙	3.4%
B	食料品	2.0%
C	繊維工業	1.8%
D	その他	1.5%

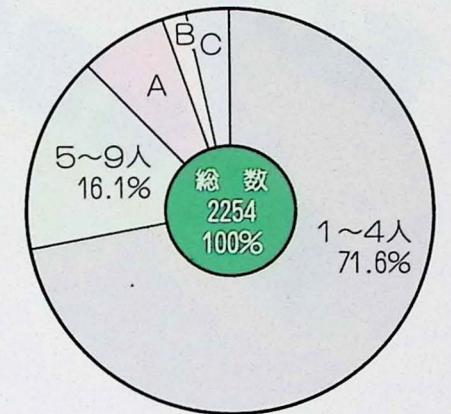
(S56.工業統計調査)

■ 事業所及び従業者数の推移



(事業所統計調査)

■ 従業者規模別事業所数の構成比



A	10~19人	7%
B	20~29人	2%
C	30人以上	3.3%

(S56.事業所統計調査)

伸びゆく八日市の“産業フェア”



観光

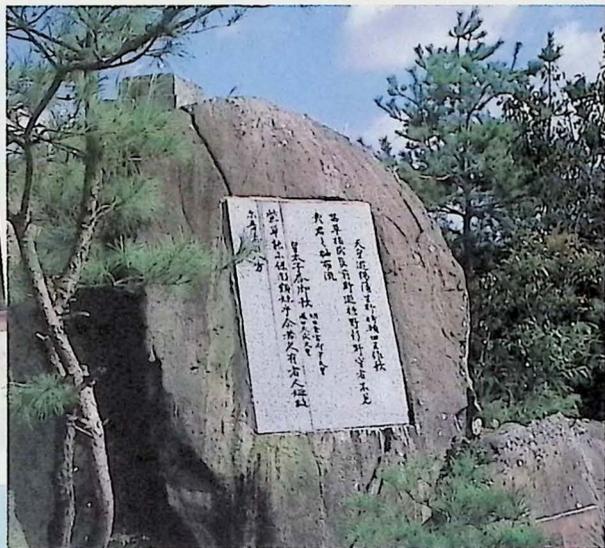
瓦屋寺

推古天皇の頃、聖徳太子がこの地で良質の瓦土を見つけ、これが大坂四天王寺の瓦を焼いたといういい伝えがある。本堂は入母屋造りで、臨済宗妙心寺派。

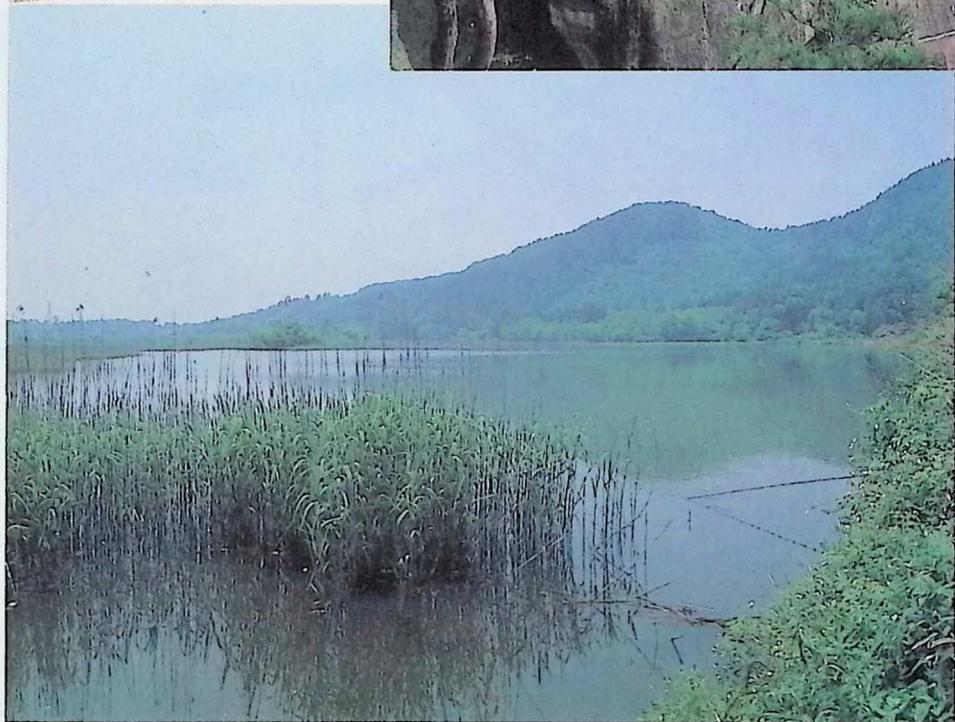


万葉歌碑

額田王と大海人皇子の相聞歌が刻まれています。



静寂、古代にマコトの誘い……



布施の溜

後白河天皇の撰にかかる梁塵秘抄に「近江の歌枕」の一つとして出てきます。淡海三船が天平宝字8年(764)に拡張整備したものといわれています。

太郎坊宮

箕作山に岩肌をみせて立つ太郎坊山の中腹にあります。本殿前に「夫婦岩」や多くの巨岩、怪石が散在し、原始信仰の盤座の面影を伝えております。



▼太郎坊お火焚き祭
境内で大観摩を焚き、山伏の間答や火渡りが行われます。



神秘の祈りからドラマ



市神神社と聖徳太子像

市宮忠比須神社とも称され、祭神は事代主命(ことしろぬしのみこと)八日市場の祖神である。



市民の広場

延命公園

四季折々に桜、ツツジ、サツキなどが咲きほこり市民の憩いの広場として広く利用されている。

湖東の名刹

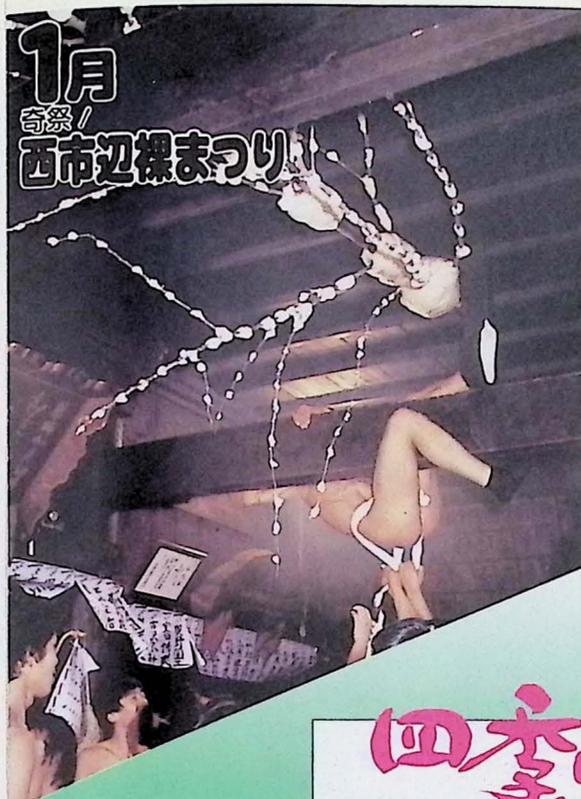
永源寺

音無川の清流にのぞんだ紅葉の名所として名高い。
臨済宗永源寺派大本山。



石塔寺

飛鳥時代の作と推定される阿育王塔を中心に、8万4千の石仏、石塔が整然と並ぶさまは壮観。



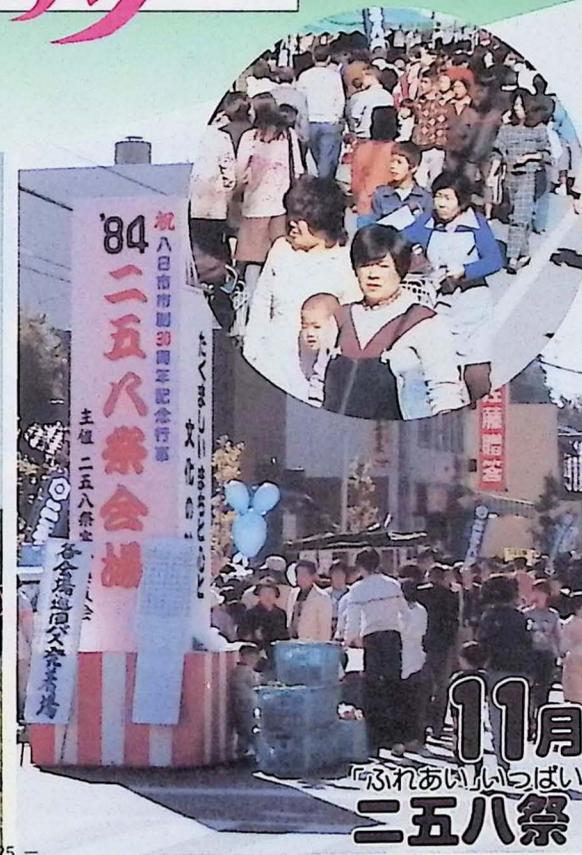
1月 奇祭/ 西市辺裸まつり



7月 市民の夏まつり 聖徳まつり

四季のまつり

10月 八日市名物 大だこまつり



11月 「ふれあい」のつばい 二五八祭

ふるさとの香り

八日市の特産品



近江銘茶



うどん・そば



みたらしんご



うどん



清酒



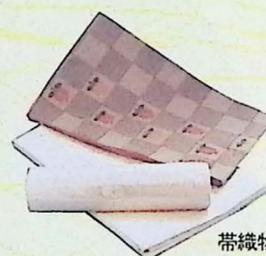
八日市銘菓



弁当



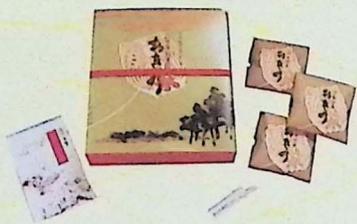
手づかん



帯織物



麻織物



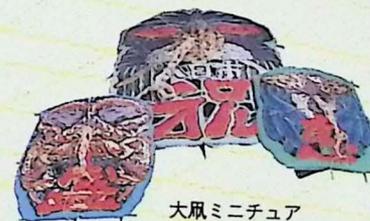
こんにゃく



トランプ・花札
百人一首



きんらん人形



大風ミニチュア



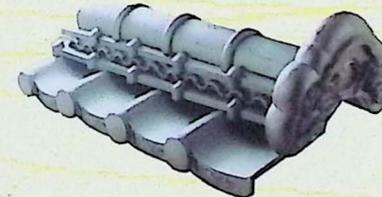
牛肉味噌漬



漬物



布引焼

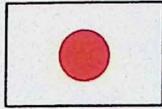


麩



工芸ランマ

深まりゆく国際親善



八日市商工会議所



マーケット商工会議所



昭和54年8月の八日市市・アメリカ合衆国ミシガン州マーケット市の姉妹都市調印につき、昭和58年8月5日八日市商工会議所とマーケット商工会議所も姉妹協定を締結しました。以来毎年使節団の交流を行ない、その絆はさらに深くなっています。

マーケット市はミシガン州の北端、スベリオル湖に面した静かなまちで、面積30km²の八日市市より少し小さな都市です。主な産業は豊富な鉄鋼石を利用した鉄鋼業で、夏には避暑地として観光客でにぎわいます。



大ホールで行なわれた姉妹協定調印式

八日市商工会議所の概要



マークの由来

商工会議所のマークは、CHAMBER OF COMMERCE AND INDUSTRYの3つの文字の頭文字を図案化したもので、調和と発展を象徴しています。

チェンバーは会議所、コマースは商業、インダストリーは工業のことです。

なお、JAPAN(日本)の頭文字Jも含ませ、おどりが翼を広げて大空を飛び様子も表現しています。すなわち、日本商工会議所が世界に飛躍していることを示し、全国各地の商工会議所はこのマークで統一されています。



会頭・副会頭



会頭 福原 憲治
湖東信用金庫 理事長

副会頭 渡辺 福之助
八日市小型運送衛
代表取締役

副会頭 二橋 貞雄
(株)二橋商店 代表取締役

専務理事 監事



阿部 秀二



小川 信太郎
小川正文堂 代表



小林 保雄
滋賀相互銀行(株)八日市支店長

常議員



山本 正之
(株)滋賀銀行八日市東支店長



大洞 巖
理容まつば 代表



奥田 平八
(合名)出目又商店代表社員



奥村 晃一郎
(株)太陽堂薬局代表取締役



亀田 利男
松下電器産業(株)
掃除機事業部長



久保 謹吾
伊藤銀証券(株)
八日市支店相談役

常議員



楠林 勘二郎
楠林時計店 代表



笹井 太一
近江印舗 代表



因司 松兵衛
㈱荒松商店代表取締役



瀬戸口 義彦
凸版印刷㈱
関西支社滋賀工場長



辻川 敬一
㈱辻川一六堂代表取締役



角川 敬三
㈱大東設計事務所
代表取締役



西沢 高弘
吉かつ 代表



西田 芳夫
西田印刷所 代表



深尾 寅之助
深尾寅之助商店 代表

常議員



堀井 寅藏
協楽興業㈱ 専務取締役



前川 恕
前川木材㈱ 代表取締役



森 喜造
近江鉄道㈱ 専務取締役

議員



森 稔
㈱森友 取締役



山田 晴一郎
(合名)かじ藤商店 代表社員



磯貝 武司
太平楼 代表



稲次 良弘
タキロン㈱八日市工場
勤労購買課長



今宿 三郎
丸一八日市綜合青果㈱
代表取締役



岩根 卯平
岩根商店 代表

議員



大西 文三
大西文三縫製工場 代表



大野 唯彦
ミヨナ洋行 代表



大橋 實
神崎証券(株) 代表取締役



奥 和 男
平和建設(株) 代表取締役



奥野 幾三郎
(株)奥野建興社 代表取締役



奥村 章三
(株)奥村鉄工所 代表取締役



加藤 博之
加藤モータース(株)
代表取締役



加藤 喜和
(有)伸和電器商会
代表取締役



喜多 良道
喜多酒造(株) 専務取締役

議員



小沢 国太郎
小沢電器商会 代表



小林 久雄
小林事務機(株) 代表取締役



謝 豊 亭
レストラン不二屋 代表



竹 中 弘
タケナカ 代表



田 中 藤三郎
ワタナベ電機(株)
代表取締役



玉 水 小次郎
玉水燃料店 代表



堤 宗三良
(有)あさひきんらん
代表取締役



堤 隆 郎
銘茶ますきち 代表



辻 三 光
関西電力(株)
八日市営業所長

議員



苗村 淳
苗村理容所 代表



中原 周治
(株)中原安全硝子
代表取締役



中山 猛
クチュールレマ 代表



野田 貞夫
一二三堂老舗 代表



福原 範彦
福重 代表



藤原 康行
(株)日研塗工 代表取締役



古島 実
ラウンジ王朝 代表



前田 春吉
(有)前田クリーニング商会
代表取締役



松吉 勝司
(株)アラカツ 代表取締役

議員



回 瀨 治 二
(株)花治商店 代表取締役



宮川 征一
ホテル海老長 代表



向 敏 男
(有)向菊商店 代表取締役



村田 志 郎
(有)キクヤ薬局 代表取締役



村田 眞一郎
村田石油(株) 取締役社長



村防 龍雄
村防工業(株) 代表取締役



山田 明 宏
ひさご 代表



山田 倅 造
丸和産業(株) 代表取締役



山田 林市郎
マスリン呉服店 代表

八日市商工会議所30年の歩み

設 立

昭和29年、八日市市の誕生を契機に従来の商工会組織を商工会議所法に基づく法人に改組しようとする機運が高まり、昭和31年1月、岡司松兵衛氏を代表発起人とする有志512名にのぼる賛同を得るに至った。

その後速やかに、昭和31年2月8日、628名の出席のもと八日市中央公民館において創立総会を挙行、さらに引き続き昭和31年3月15日通産大臣設立認可、同月30日設立登記、同31日滋賀県知事に対する登記完了届の提出等の手続きをすべて終え、翌4月2日成立式を挙行、ここに八日市商工会議所は歴史の一步を力強く踏み出した。

30年代

- 昭和31年度
 - ・商工会議所組織の基礎確立と事業活動の普及PRに全力を傾注
 - ・パンフレット「八日市の観光と産業」を発行
- 昭和32年度
 - ・役員議員改選
 - ・八日市観光協会設立
 - ・延命山ドライブウェイ設置
- 昭和33年度
 - ・八日市市観光協会設立
 - ・従業員退職金制度創設
 - ・失業保険事務組合創設
- 昭和34年度
 - ・納税協会八日市支部設立
 - ・新江州音頭普及PR
 - ・菊花大会、品評会開催
- 昭和35年度
 - ・役員議員改選
 - ・小規模企業指導強化のため経営改善普及員設置
 - ・第10回えびす祭共催
- 昭和36年度
 - ・八日市織物工業協同組合設立
 - ・八日市工業会結成
 - ・延命山植樹
- 昭和37年度
 - ・商工婦人学級開設
 - ・会員企業巡回簡易診断実施
 - ・延命山観光道路竣工式
 - ・太郎坊ドライブウェイ竣工式
- 昭和38年度
 - ・役員議員改選
 - ・八日市遊園地誘致
 - ・観光開発協議会開催
 - ・近鉄遊園地起工式
- 昭和39年度
 - ・労働福祉協議会設立
 - ・八日市市広域商業診断実施
 - ・商工会館改造
 - ・八日市遊園地開園式

40年代

- 昭和40年度
 - ・中小企業労務改善集団の指定
 - ・八日市観光地図作成、配布
- 昭和41年度
 - ・役員議員改選
 - ・八日市工業振興協同組合設立
 - ・本町商店街振興組合設立
- 昭和42年度
 - ・八日市商工会館建設準備着手
 - ・本町商店街アーケード完成式
 - ・盆おどり大会開催
- 昭和43年度
 - ・八日市商工会館起工式
 - ・びわこ祭盆おどり大会開催
- 昭和44年度
 - ・役員議員改選
 - ・八日市商工会館竣工式
- 昭和45年度
 - ・八日市自動車協同組合設立
 - ・第1回聖徳まつり挙行
 - ・大型店対策調査研究事業実施
- 昭和46年度
 - ・商工会議所創立15周年記念式典挙行
 - ・不況対策企業診断実施
 - ・江勢道路早期完成促進運動展開
- 昭和47年度
 - ・役員議員改選
 - ・商工名鑑発刊記念式典挙行
 - ・商店街再開発問題着手
- 昭和48年度
 - ・大型店移転問題調査研究事業実施
 - ・中部地域商業振興構想策定
 - ・卸売市場問題調査研究事業実施
 - ・八日市市中小企業振興資金融資幹線開始
 - ・朝市挙行
 - ・小規模企業経営改善資金融資幹線開始
- 昭和49年度
 - ・中部地域卸売市場整備促進事業展開
 - ・八日市大通り商店街振興組合設立
 - ・八日市ショッピングセンター協同組合設立
 - ・第1回開市記念祭挙行
 - ・商工会館エレベーター完成

50年代

- 昭和50年度
 - ・役員議員改選
 - ・大規模小売店舗に係る小売業の事業活動の調整実施
 - ・共同店舗建設のための中小企業振興事業団診断実施
- 昭和51年度
 - ・駅前開発懇話会設置
 - ・企業内同和教育活動推進
 - ・商工会議所創立20周年記念式典挙行
- 昭和52年度
 - ・企業内同和教育推進大会開催
- 昭和53年度
 - ・役員議員改選
 - ・八日市駅前地区土地区画整理事業推進
- 昭和54年度
 - ・商工会議所会員増強運動展開、組織率50%突破
- 昭和55年度
 - ・八日市市広域商業診断実施
 - ・京都・八日市・桑名線国道昇格運動展開
 - ・八日市市企業内同和教育推進協議会設立
- 昭和56年度
 - ・役員議員改選
 - ・第36回国民体育大会（びわこ国体）のための街頭装飾、売店運営
 - ・大型店出店凍結宣言
 - ・商工会議所創立25周年記念式典挙行
- 昭和57年度
 - ・八日市市公設地方卸売市場開場
 - ・'82八日市産業フェア挙行
- 昭和58年度
 - ・アメリカ合衆国ミシガン州マーケット市商工会議所との姉妹協定調印
 - ・八日市駅前近代化協同組合設立
 - ・八日市市駅前地区土地区画整理事業のための商業近代化調査
 - ・八日市卸売団地設立構想樹立
- 昭和59年度
 - ・役員議員改選
 - ・八日市市制施行30周年
 - ・八日市産業空港誘致計画調査研究
 - ・マーケット市に国際交流使節派遣
- 昭和60年度
 - ・創立30周年記念事業特別委員会の設置、活動
 - ・商業近代化計画基本構想策定事業実施
 - ・マーケット市使節団歓迎行事
 - ・結婚相談所開設

最近10年間の意見活動

■国・県に対して

- 昭和51年12月8日 主要地方道近江八幡員弁線国道昇格の件
- 昭和52年5月25日 主要地方道近江八幡員弁線国道昇格の件
- 昭和52年11月24日 中部地域卸売市場に伴う決議の件
- 昭和53年5月28日 主要地方道近江八幡員弁線国道昇格の件
- 昭和54年2月25日 京都・八日市・桑名線国道昇格の件
- 昭和54年6月9日 京都・八日市・桑名線国道昇格の件
- 昭和55年9月16日 京都・八日市・桑名線国道昇格の件
- 昭和55年10月24日 京都・八日市・桑名線国道昇格の件
- 昭和56年2月4日 京都・八日市・桑名線国道昇格の件
- 昭和56年12月7日 八日市市駅前地区土地区画整理事業の件
- 昭和57年12月8日 国道421号線早期整備の件
- 昭和59年6月15日 国道421号線早期整備の件
- 昭和59年11月5日 産産空港誘致の件
- 昭和59年12月4日 国道421号線早期整備の件
- 昭和59年12月14日 商工会議所事業に対する課税の件
- 昭和60年11月22日 国道421号線早期整備の件
- 昭和60年11月22日 地方空港誘致の件
- 昭和60年12月18日 中小企業輸入品販売促進事業誘致の件

■八日市市に対して

- 昭和51年12月2日 瓦屋寺観光道路改修の件
- 昭和51年12月3日 布施の藩一帯の保護整備の件
- 昭和52年6月15日 勤労福祉会館建設に伴う業者選定の件
- 昭和52年11月24日 中部地域卸売市場設置に伴う決議の件
- 昭和53年4月28日 八日市ショッピングセンター（大興株）進出の件
- 昭和54年5月14日 八日市市駅前地区土地区画整理事業の件
- 昭和56年1月30日 ガソリンスタンド新設の件
- 昭和56年12月7日 八日市市駅前地区土地区画整理事業の件
- 昭和58年9月14日 八日市市における公共事業に伴う地元中小企業者の最優先発注の件
- 昭和59年3月30日 旧裁判所跡地開放の件
- 昭和59年6月15日 泉道雨降野今在家八日市線道路改良工事の早期実施の件
- 昭和59年9月1日 市街地商業振興ビジョン策定のための施策実施の件

商工会議所と同和教育

より明るい職場づくりと差別の根絶をめざして、商工会議所が同和教育に本格的に取り組んだのが昭和49年3月、翌年4月には67企業の参加のもと八日市市企業内同和教育懇話会を発足いたしました。

その後、積極的な指導、啓蒙活動を展開した結果、企業の意識も順調な高まりをみせ、昭和55年10月県下に先駆けて、20名以上の従業員をもつ企業の100%の参加を得て、八日市市企業内同和教育推進協議会が結成されるに至りました。

協議会が目指している啓蒙目標は、効果的な企業内研修のための勤務時間内全社員教育であり、重点事業としては、啓蒙誌“和”の発行、経営首脳者研修会、推進員研修、先進地学習、推進大会の開催等の活動を展開するほか年間を通じて各種研修会、大会への積極的な参加をはかるなど日常的な啓蒙活動を大切にしています。

商工会議所の組織

◆目的

商工会議所は古い歴史を背景として発展してきましたが、いまの制度は昭和28年8月に制定された“商工会議所法”という法律によって運営されている特殊法人です。

商工会議所は、その地域内における商工業の総合的な改善発達を図るとともに、社会の福祉の増進に資することを目的とした地域総合経済団体です。

また、全国約480の都市に設置された商工会議所は、日本商工会議所のもと密接なネットワークを保持しており、商工業者のニーズにお応えいたしております。

◆会員

商工会議所の運営をささえ事業活動の推進力となっているのはすべて会員です。会員は自らの事業の発展のために商工会議所の機能を十分に活用できるとともに、会員の意見は商工会議所の意見となり、国や県、市を動かす世論となるのです。

◆特定商工業者

地域内の商工業者で、資本金15万円以上の法人または、事業税24,000円以上の法人、個人は法の定めにより、特定商工業者として商工会議所に登録されます。

◆部会

部会活動は商工会議所活動の基盤です。会員は事業の種類ごとにそれぞれの部会に所属します。
10部会。

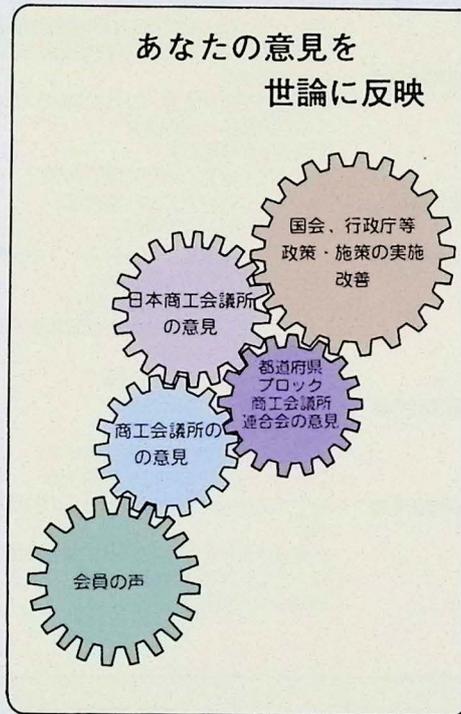
◆委員会

商工会議所の運営や意見活動、あるいは経済問題、地域の諸問題について専門的な立場から調査、研究するための機関です。

商工会議所では現在、7常設委員会、3特別委員会をおいています。

◆議員総会

商工会議所には、最高意志決定機関として、議員総会をおいています。

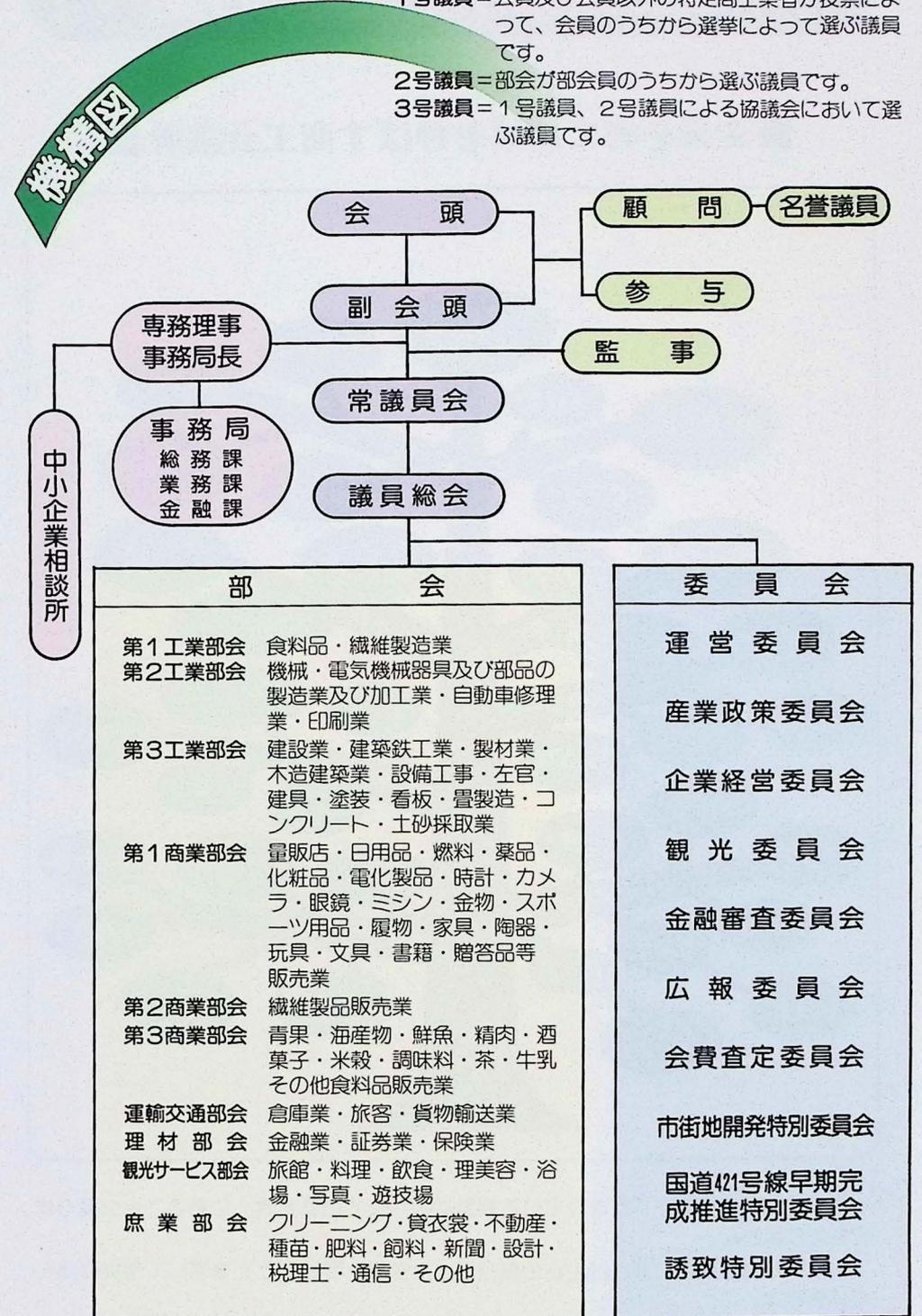


■議員総会を構成する議員の種類

1号議員 = 会員及び会員以外の特定商工業者が投票によって、会員のうちから選挙によって選ぶ議員です。

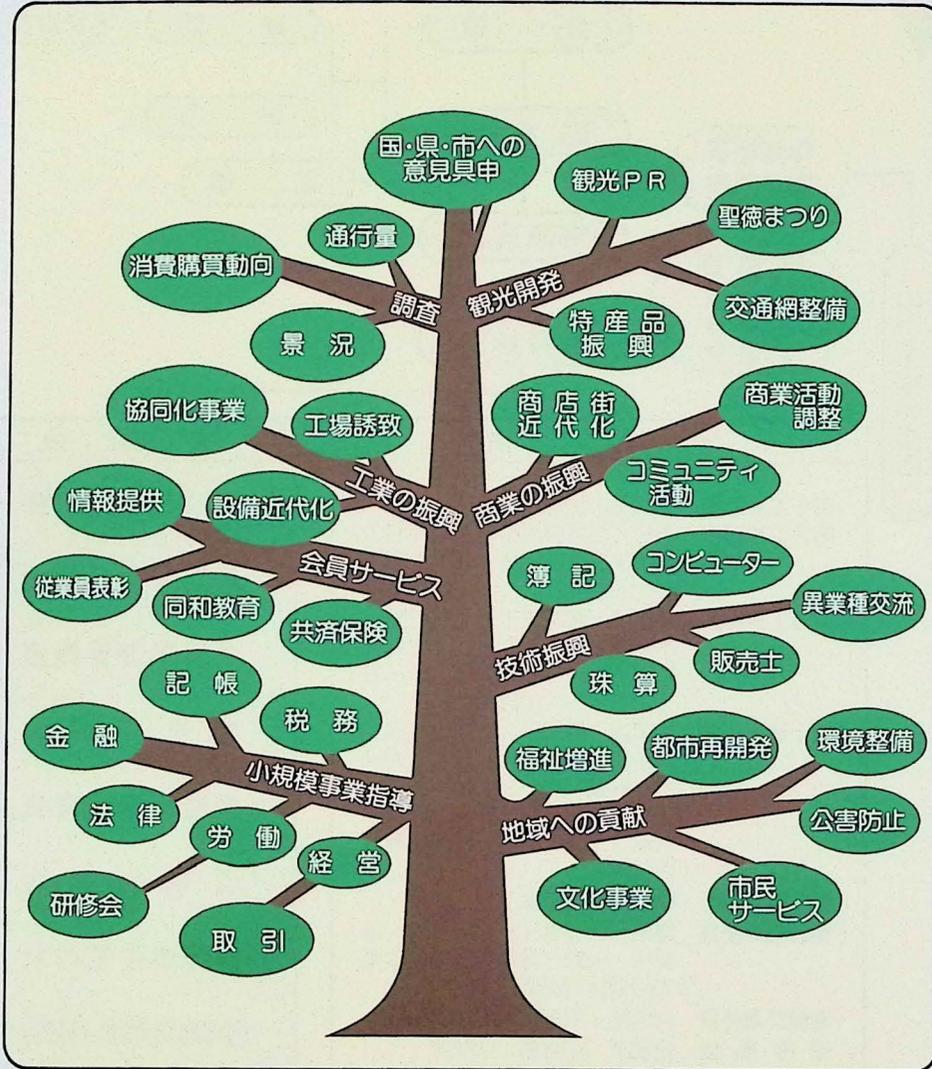
2号議員 = 部会が部会員のうちから選ぶ議員です。

3号議員 = 1号議員、2号議員による協議会において選ぶ議員です。



商工会議所の事業活動

■ 企業を育て地域を伸ばす商工会議所 ■



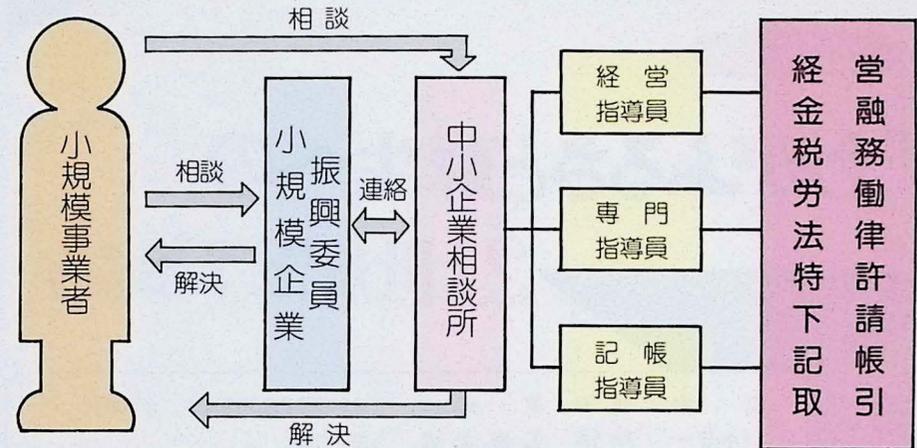
商工会議所の生命が「行なっている事業」「めざしている方向」にあることは言うまでもありません。
 たくましい企業の力が、21世紀の豊かな郷土を拓いていくことを信じて着実に歩んでいきます。

八日市商工会議所 中小企業相談所

中小企業相談所とは、中小企業者の大部分を占める小規模事業者のみなさまの経営改善のお手伝いを、国、県の補助事業として実施しているところです。

八日市商工会議所では、通産大臣より資格認定を受けた「経営指導員」「補助員」「記帳指導員」がみなさまの経営上のあらゆる相談をお受けいたします。

また、みなさまにより気軽にご利用いただけるよう、業界・団体の役員及び事業に理解と熱意をお持ちの方々にパイプ役として「小規模企業振興委員」をお願いしております。



会議所はあなたの企業の羅針盤

迷わず、今すぐ

経 営 診 断

あなたの商工会議所では、企業の健全経営と発展を願って「経営診断」事業を展開しています。経営上、抱えているあらゆる分野の問題について中小企業診断士などの専門相談員と経営指導員が企業を訪問し、適切な指導、アドバイスをします。

- 利益計画・資金繰り・経営分析など
- 財務管理
- コストダウン・品質・工程管理など
- 生産の合理化
- 店舗・品揃え・PR・接客など
- 販売促進
- 教育・資金・保険など
- 労務対策



機密保持

診断無料



青年トーク

「わがふるさと蘇生への 21世紀ビジョン」

- | | | |
|------|---------|---------------------|
| 司会 | 村田 眞一郎氏 | (村田石油(株)取締役社長、当所議員) |
| パネラー | 柳瀬 名寿子氏 | (主婦) |
| | 中 溝 敦子氏 | (彦根商業高校 英語教諭) |
| | 福 富 弘悦氏 | (松下電器産業(株)掃除機事業部勤務) |
| | 小 泉 英二氏 | (小泉 酒店) |
| | 灰 谷 羊一氏 | (八日市市勤務) |
| | 中 村 貞司氏 | (滋賀大学教育学部4回生) |
| | 喜 多 良道氏 | (喜多酒造(株)専務取締役、当所議員) |
| | 福 原 憲治氏 | (湖東信用金庫理事長、当所会頭) |

会頭 本日は私共商工会議所創立30周年記念のメイン事業の一つとして企画いたしました、21世紀ビジョン討論会にお忙しい中ご出席いただき、ありがとうございます。

内外共に厳しい経済情勢の中にあって、今こそ過去の常識や通念を破る勇気と発想が求められており、町づくりにおいても例外ではないと思います。

どうか、大変大きくしかも難しいテーマではありますが、大いに夢を語り合う中で、蘇生のビジョンを探ってみたいと思います。どうぞよろしく願いいたします。

八日市のイメージ……… 「住みにくい町」「乾いた町」 有るのは自然だけ

司会 さて、今日は各々立場は違っても明日の八日市をその双肩に担っていただかなければならない若者諸君に集まっていただきました。遠慮会釈のないストレートな意見を期待します。

それではまず、各々の方が直感的なイメージとして、八日市という町をどのように見ておられるかお伺いします。

福富 私は八日市に住むようになって5年目です。

最初まず印象として自然が、特に緑に恵まれた町だなあと感じました。そして今は、税金の高い割には体育館など市民のための施設に乏しくて、地方の割には物価が高いなあと感じています。

全体として「住みにくい町だなあ」というイメージを持っていますね。

柳瀬 私もまだ半年余りしかこの町に住んでいないのですが、やはり交通の便が非常に悪いですね。免許がなくて車に乗らない私なんか特に不自由で仕方がないんです。

それと会社の転勤などで引っ越してくる場合、アパート、借家の確保がとつても難しい。結構不平不満をいっている人が多いようですよ。

中村 私は八日市生まれの八日市育ちですが、大学の友人との話に出てくるのは「雪が多くて、近江鉄道がびっくりする位高いところや」そして「これといった町のイメージが無いな」というものです。

市場町として昔栄えた栄光にとらわれ過ぎていけるのでは。一言でいって満身創いの町だと思います。

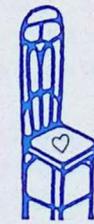
喜多 そうですね、学生時代を通じて5年間東京で暮らして帰郷してきたとき、実に淋しかったですね。今も話されたように、豊かな自然と素晴らしい景観、それに対してこれといった魅力・楽しさ、そして刺激の無い町……私はこんな相反するイメージを持っています。

灰谷 私は永源寺で生まれたのですが、高校時代、この辺で住むのがとてもいやでした。



灰谷 羊一氏

中央大学出身 37才
八日市市総務部勤務
自然や生き物を大切にす
る心優しい青年。市内でも
「異色」の行政マンとして熱い期待が。



率直に言って「干からびた町・乾いた町」だと感じています。私も学生時代東京にいましたが、都会は確かに自然は少ないです。けれども、町並みや商店街には生き生きとしたみずみずしさがあると思います。時たま帰郷してきて、米原駅に降り立って近江鉄道を待つ時のわびしさを今でも思い出しますね。一面、ホッとした感じを持ったこともあります。

司会 なるほど、近江鉄道というのは実にシンボリックなんですね。都会から田舎、つまりざわめきから静寂にスリッパさせてくれるタイムトンネルのような……。

小泉 田園風景に大きな変化がないからですね。私もこの地に生まれ育って30数年たちます。外から帰ってくると安心感がありますが、逆に進取の意気に欠ける街というイメージを持っています。決して閉鎖的ではないと思うんですが、保守的なイメージがあるから外から入り込みにくいのかも知れませんね。



小泉 英二氏

名城大学出身 34才
家業の酒店に精を出すかわ
ら八日市J C副理事長とし
ても、信望は高い。パワフル
な商売人として、商業再生に
一役を。

こんな時だからこそ、情報交換の場所でもあった昔の市場町の活気とガムシャラな前向きさが欲しいですね。

ただ、市場町という形での蘇生、再生はもう無理だと思います。

中溝 私の抱えているイメージもやっぱり「乾いた町」なんです。

私が1年間過ごしたマーケットの町も、とても八日市と似た町ですが、町のいたるところに公園など、市民がホッと息をつつける場所がたくさんありました。

それと良い点を少し言いますと、地方都市の割

には国際交流に対する意識が高いですし、外国の人をスムーズに受け入れる進歩的なところもあると思うのです。

異質のもの、新しいものを吸収しようとする意欲はあるのだから、それをもっと伸ばしてほしいですね。



中溝 敦子氏

立命館大学出身 25才
彦根商業高校英語教諭
1年間のマーケット留学の経験をもつ勇ましき。生徒と間違えられそうな「あどけなさ」もチョッピリ。

町の魅力って 一体何だ……………

司会 さすがに世代感覚が若いですね。少し圧倒されそうですが、それでは次に町の魅力とは一体何なのか、考えてみたいと思います。

中村 ほくたちが行きたいと思うところ、例えば京都の北山、北白河なんかを例にあげますと、町そのものが絶えず変化し続けているんですね。少し行かないでいると新しい店ができていくし、そして何よりもどんどん新しい人たちが吸い込まれるようにやってきているのです。

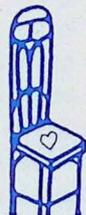
だから、常に成長し続けている姿こそが町の魅力だと思います。それと、市民が憩える空間と。

中溝 私なんかはまず、遊べるところというのが第1条件です。買い物も遊びだし、品物だけしか売ってないような町ではこれからの世代にはとても……………。

もっと楽しさと安らぎを売ってほしいですね。

柳瀬 私はたまたま神戸の実家に帰るのですが——神戸の計画された町並みと感性の漂う空気にやっぱりウットリします。

ですから、日用品的な物は仕方なく近所で買いますが、ちょっとした買い物は京都へ書道の稽古に行く時に買っています。



司会 書道が趣味のようですが、どうしてわざわざ京都まで行くんですか？

柳瀬 やっぱ良い先生がいるから。

福富 若者が何を欲しているか。これから何が求められるのか。町づくりの担当者や商売さんにもっと真剣に考えてほしいですね。そして、若者を引き込む力を作り出してほしいと思います。

灰谷 福富さんの意見に少し反論するようですが、新しいだけ、若々しいだけの町では……………とだんだん思えてくるんです。うらぶれた面の演出というか、安らぎの空間も都市の魅力ではないかな。安心して暮らせるところ。ちょっと気障な言い方になりますが、地方という限界を知った町づくりと演出できる町——そして緑、水。難しいですね。

小泉 町づくりのための手段としての演出部分はあってもいいのですが、それが本物でなくては市民にとって何の価値もなく、何の役にも立たないように思いますね。

建物とか設備とか、ハード部分も勿論大切ですが、同時に人間同士が交いあえる広場は、都市生活の中では必要不可欠な要素だと思いますね。

灰谷 けれど、日本でそんな広場が有効に使えるだろうか。日本人て本来ひっそりと小人数で生きるというか、どうしようもなくドロ臭い人種かと思えるのです。

ただ、八日市には飲み屋さんはいっぱいあるけど、ゆっくりと語らって飲める居酒屋も少ないですしね。

だから新しい施設、俗にいう箱物を造るよりも今ある物をもっと生かす努力がいるんじゃないでしょうか。

小泉 ゆっくり飲める居酒屋さんもたくさんありますよ。広場が有効に使えるかどうかは、民族の歴史の問題ではなく、単に利用方法の提示の問題だと思いますが……………。意識は十分あると思いますね。

中村 私も都会のように施設優先の町づくりをやってもどうせ使いこなせないと思うのです。もっとソフト面で血と心の通ったものを求めるべきなのでは……………。

中溝 例えばマーケットの人たちを八日市に迎えた場合、本町のアーケード街を案内することをとても喜んで下さいます。だから、本町にも京都あたりへ行っても十分通用する、若者を引きつける店があると思います。

ただ、店が連なっていないし、PRべたなんで

市場町から…………… 21世紀の「商業」 「新しい町の顔づくり」へ

司会 いろんな統計データによりますと、昭和40年代には約14~15万人あった当市の商圏人口が、現在では5万人余りにまで激減してしまっており、地元の商店にとってはまさに危機的な状況なんです。それでは少し具体的な問題として「八日市商業の課題」、さらには新しい町の顔づくりとしての「駅前役割と再開発事業の将来性」についてお伺いします。

中溝 若者の立場から言いますと、もっと外からの刺激といいますか新しい店や外的資本がどんどん入ってくる方がよいと思いますね。その方がもっと生き生きとした町になると思うのです。

中村 スーパーと商店の違うところ、それは「小回り」というか「フットワーク」の差ではないでしょうか。小回りのきく小さな商店にこそ敏感に

すね。

柳瀬 それは私も同感です。それと、商品を買うお客の方が気を使ってしまう。そんな店が余りにも多すぎるんです。



柳瀬 名寿子氏

梅光女学院大学出身 23才
60.5月福岡からはるばる八日市へ。ご主人(凸版印刷勤務)とともに楽しい家庭づくりの真っ最中。爽やかさがとても印象的。



喜多 センスの良さというか、そこに住む人々や行政が時代感覚をつかんでいることが、魅力ある町づくりにつながると思います。

私も時々仕事で上京した時に東京で買い物をしますが、こちらが圧倒されるほどの情報があるんですね。これからの町の魅力は、何はともあれ情報の量と質だと言えないでしょうか。

それと、恵まれた自然も放ったらかしでなく、手が加えられ活かされた自然であってほしい。

司会 皆さんのご意見によると、市場町という過ぎ去った幻影にとらわれ過ぎず、若いバイタリティと安らぎを兼ねそなえた町という願いが大勢のように思いますが、会頭さんはいかがお考えでしょうか。

会頭 八日市はご存知のように観光資源に乏しく、伝統的財産も少ない町です。

しかも、現実問題として商業においてもスーパーだけが栄えているという、極めて厳しい状況なんです。

私はもはや今となつては、市場町という概念はもう再生することのできない過去の遺物だと思っています。

ですから、将来のビジョンというものも、ゼロからの出発と言いますか、無から有を作り出すんだという位の気迫で取り組む必要があります。未開発ということは、まだまだ可能性があるということだから……………。



中村 貞司氏

滋賀大学教育学部4回生 22才
勉学？のかたわらヤング情報誌「京阪神Lマガジン」のキャンパス特派員として縦横無尽。将来は教職？。



消費者のニーズに対する即応性を、もっと発揮してほしいと思います。それが今は逆なんです。

例えば、地元商店の閉店時刻が早いこと。できる努力をしていないと言えないでしょうか。

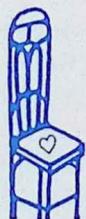
柳瀬 私などもつつい価格よりも目先の便利さと気楽さに走ってしまっていると思うのですが、これは決して消費者の責任ではないですね。

福富 駅は町の顔なのに、今はただ暗くて密集したイメージしかないですね。だから、今度の駅前開発計画も成功するかどうかは、個々の商店がどれだけ専門店化するか、そしてどこまで、住

民が望むような空間づくりができるかにかかっていると思うのですが。

喜多 今の時代に、スーパーという核に依存しただけの「コバンザメ商法」では、到底本当の再生は図れないと思うのです。やはり、商業集積としてのグローバルな改造を実現して街区を一変させないと。

会頭 ただね、当局商業全体としての商圈を維持拡大していくため、つまり市外の購買客の吸引力を高めるためにはやっぱりスーパーという核店舗に依存せざるを得ない部分もあるのですよ。



福原 憲治氏

八日市商工会議所 会頭
湖東信用金庫 理事長

灰谷 現在でもやはり駅前商業面での核であり、八日市の顔だと思います。ただ、具体的な手法として単に画一的なビル化を図って、果たして他市との競争に勝てるのだろうかという疑問があります。

投入する資金の問題等いろいろなリスクはあるでしょうが……何か特色のあるものをプラスして個性を創造しなければ、人は集まってこないでしょう。

喜多 都市計画事業としての基盤整備や資金援助など行政施策のテコ入れも勿論必要だとは思いますが、それ以前の問題として個々の店の努力はもう限界に来ているにもかかわらず、商業者自身の危機感という切実感がまだまだ足りないと思いますね。

小泉 今、切実感という言葉が喜多君から出ましたが、専門店としてすばらしい経営をしている商店も八日市にはたくさんあります。又、反面スーパーに人が吸い寄せられてしまいますから、経営努力を重ねても結果として報われない店も多い。

店の前や商店街を人が通ってくれなくてはどのようなしょうもない。なら、スーパーという核の力を借

りてでも人を呼びたい……。これは本音なんです。

それと先程少し話に出ましたが、土地画整理事業というのは全国的にみても変わりばえのしない、個性のない町を造り出しているんですね。ですから、八日市の場合にも都市再開発手法をどんどん活用して、思いきった商店街近代化事業を実現していくことが最も大事ですし、核的施設の導入が今はまず出発点だと思いますね。

それともう一点、これは八日市の市民性、土壌によるものなのですが、商店街の危機感を商売人同士で、さらには行政、市民に対して真剣にぶつけあうという気風に欠けていますね。もっとオープンに、もっとPRをと言いたいですよ。

灰谷 駅前問題については以前から、商店街の人たちが本当に真剣に討論を尽くしてきたのだろうかという疑問があるんです。ややもすれば、行政主導が強過ぎるのでは。

市民レベルでも商店街のあり方、位置付けをもっと話題にしてほしいんですよ。

旧の商店街というのは、市民全体の居間であり台所でもあるんです。居心地のいい居間、台所について議論がほしいですね。

司会 全市的かつ全市民的な問題であるにもかかわらず、部分的、断面的対応しかできていないのですかね。どうも目先の利害が先行しているのですね。

喜多 即物的、即利的な考えを捨てた議論が今こそ必要なんですよ。それこそ21世紀をにらんだ視点での。



喜多 良道氏

慶応義塾大学出身 32才
老舗酒造会社の経営に全力を注ぐとともに、社会教育など幅広く活躍。論客としても特に有名。当所最年少議員

何をめざし、何を求めるか… 町の活性化のために

司会 それでは最後に、将来に向かっての町の活性化のために、何をめざし何を求めるべきかについてお伺いします。

中溝 町にもっと公園を、そして商業については八日市の店が、これだけどこにも負けないという強さ、個性、専門性を高めてほしいですね。

柳瀬 私も同じ考えです。それと投げやりにならずに生き生きとした経営をしてほしいですね。そのためにも、もっとお客様を大切に扱ってほしいと思います。

福富 商業面では私も同感ですが、工業面について申しますと、私の偏見かも知れませんが、大体金融機関のトップが商工会議所の会頭をやっているような町は、地元企業の育成をおろそかにしてきた町だと思います。八日市もまさにその通りでは……。



福富 弘悦氏

島根県 神戸商科大学出身
27才 56松下電器産業㈱入社
第1印象を見事にくつがえし、
厳しい意見をズバズバ。スリムさがいいですね。

ですから、もっと具体的な目標を持った地場産業振興策をやっていただかないと将来がとても不安です。

新たな地場産業の創造を、と叫びたいですね。
喜多 確かに新日鉄のある釜石市のように企業誘致主導型都市の恐ろしさを感じます。地元産業が本当に大切だなあと感じますよ。

灰谷 八日市の場合、地価が高くて容易に土地を手放さない地域的条件が開発の大きな障害になっているんですが、私はまず周辺市町の勤労者を受け入れることのできる住宅開発を望みます。

そして第2に、外から来た人に楽しんでもらえる町、住んでもらえる町にするために、ニーズの掘り起こしと果敢な対応を行ってほしい。消費、

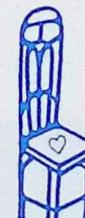
文化、居住などの機能の集中化と多様化ですね。

それと、やはり八日市の旧市街地の金屋通りから本町、駅前の商店街を改造じゃなく、今ある良さを最大限に生かした修復を行うべきだと思います。

中村 そうですね、私はタウン誌的なPR感覚で、市や商工会議所、商店街がいろんな情報をもっと提供してくれる町になってほしい。それと、進出企業については管理の人材を本社採用ばかり優先しないで、地元の卒卒者も採ってほしい。そして、大学、専門学校などの教育施設も誘致してほしいですし、例えば「大風博物館」のような八日市の文化シンボルになるようなものもほしいです。ほしいものばかりで申しわけありませんね。

小泉 私は行政と市民の協調性が何よりもまず根本だと思います。その協調システムの開発のためにも、たくさんある各種市民団体をもっと幅広く活用してほしいですね。行政改革的な行政の軽量化と市民参加をもっと本質部分で高めることが町の活性化への大きな試金石だと思います。

喜多 そうですね、今の小泉君の意見に関連するのですが、何かを変えよう、そして伸びていこうとするならば、今までのような対行政、対市民という対立的な図式じゃなく、市民同士がもっと開けっぴろげに議論できる土壌、体質、雰囲気づくりが最も大事だと思います。

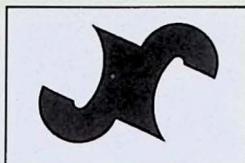


村田 眞一郎氏

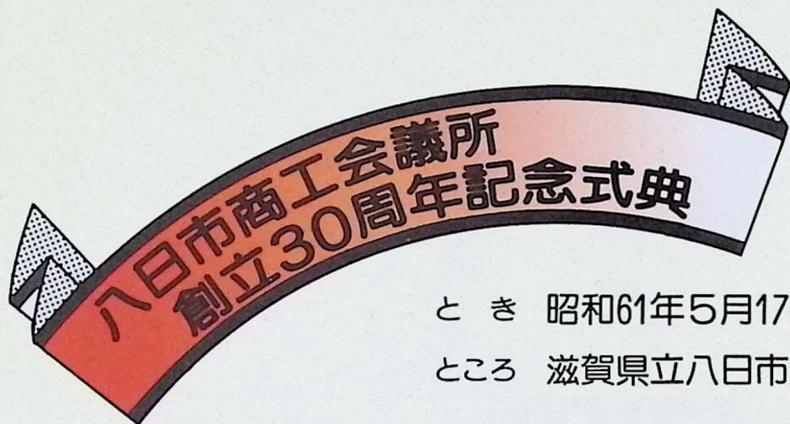
慶応義塾大学出身 44才
'76日本JC指導力開発委員長
'78八日市JC理事長、現、石油商業組合副理事長
次代の当局経済界を担う青年経済人として期待されている。

司会 わがふるさと蘇生への21世紀ビジョン、それはまさに冒険と挑戦の繰り返しだと思います。次代を担っていただく若いみなさんの今後のご活躍を期待して閉会したいと思います。

本日は本当にありがとうございました。



とき
「めさせ！蘇生の世紀、企業の力が郷土を拓く」



とき 昭和61年5月17日(土)

ところ 滋賀県立八日市文化芸術会館

記念式典 (AM10:00~11:45)

1. オープニングショー 「矢吹紫帆」シンセサイザー・ミニコンサート
2. 開会宣言
3. 国歌演奏
4. 物放役職員追悼
5. 来賓紹介
6. 経過報告
7. 会頭あいさつ
8. 記念事業発表
9. 表彰
10. 来賓祝辞
11. 祝電披露
12. 閉会宣言

祝賀パーティー (PM12:45~14:45)

ところ 中部農業管理センター

1. 歓迎のことば
2. 来賓祝辞
3. 乾杯
4. アトラクション 民謡姉妹「しのぶとみさを」
5. 万才三唱

記念事業

- 記念誌「八日市商工名鑑」発行
- 「輸入品フェア」挙行
- 「タイムカプセル」埋蔵
- 青年トーク「わがふるさと蘇生への21世紀ビジョン」開催
- スポーツ大会の開催

会員親善ゴルフ大会
事業所対抗ソフトボール大会
従業員親善ボーリング大会

創立30周年記念事業特別委員会

委員長 前川 恕
副委員長 奥村 晃一郎

総務部会	式典部会	編集部会	事業部会
部会長 久保 謹吾 今宿 三郎 苗村 淳 野田 貞夫 山本 正之	部会長 回淵 治二 大洞 巖 西沢 高弘 古島 実 堀井 寅藏 山田 明宏	部会長 西田 芳夫 喜多 良道 小沢国太郎 小林 久雄 笹井 太一 岡司松兵衛 村田真一郎	部会長 奥田 平八 稲次 良弘 亀田 利男 瀬戸口義彦 堤 宗三良 深尾寅之助

事務局



職名

氏名

専務理事・事務局長
参 事
事務局次長・総務課長
総 務
総 務
総 務
業務部長・経営指導員
業務課長・経営指導員
経営指導補助員
経営指導補助員
金融部長・経営指導員
金融課長補佐・記帳専任職員
記帳専任職員

阿部 秀二
奥村 佐治郎
岡地 宏
森岡 達夫
奥野 佳世子
松尾 妙子
武田 康男
川西 耕三
左近 均
野田 和代
林 清一
大橋 輝子
松本 和枝

あとがき

八日市商工会議所創立30周年記念事業の一環として、「八日市商工名鑑」を発刊するにあたり、ご協賛をいただきました関係企業、諸団体各位に心から厚く御礼申し上げます。

この名鑑は、八日市の企業を全国各地に紹介し、経済交流、商取引にご活用いただき、本市商工業の発展と会員企業の繁栄に、少しでもお役に立てていただくことが出来れば幸甚に存じます。

本誌編集にあたり、出来る限り意を注ぎましたが、不備な点、脱漏、誤記などありました折は、ご指摘、ご教示をお願いします。

終りに、八日市市を始め関係各位より、資料の提供やご協力を賜り、ここに深く感謝申し上げます。

創立30周年記念事業特別委員会

編集部会長 西田 芳夫

表紙について

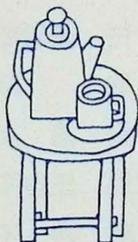
表紙の写真は、当市市制施行30周年を祝して飛揚されました200畳の大凧です。

八日市の大凧は、今から200年以上も昔、江戸時代の中頃、男子出生を祝って五月の節句に鯉のぼりと同じようにあげられたのが始まりです。

現在は、豊作を祝う行事や、国や地方に大きな行事があるとあげられるとともに、毎年秋に開催される「大凧まつり」も年々盛大になってきました。

八日市の大凧は、規模の大きさ、技術の精巧さでは全国に例を見ないものとして、昭和33年に滋賀県選択無形民俗文化財に指定されました。

●写真提供 ㈱滋賀報知新聞社



昭和61年4月20日印刷

昭和61年5月1日発行

'86八日市商工名鑑

編集 八日市商工名鑑編集部会

発行者 会頭 福原 憲治

発行所 八日市商工会議所

〒527

滋賀県八日市市浜野町3番27号

☎(0748)22-0186

印刷所 ㈱中嶋印刷所

滋賀県八日市市金屋1丁目4-8

☎(0748)22-1144

